

フィリピン高校生ら当研究科を見学訪問

フィリピン大学付属ルーラル高校の12名の生徒および3名の教員一行は、2週間の日本見学旅行に参加し、2019年12月20日に本研究科を訪れました。生徒らは全員が科学・技術に興味をもち、いくつかの研究科の研究室を訪問しました。土川研究科長と山内副研究科長が名古屋大学および農学部・生命農学研究科について説明をし、生徒らと率直に話をしました。また、国際教育交流センター国際プログラム部門長のマシュー・リンリー教授がセミナーをして、すべて英語で教育を受ける名古屋大学G30プログラムについて説明をしました。この見学旅行がフィリピン高校生らにとって貴重な経験となり、近い将来、日本留学の動機付けになることが期待されます。

生命農学研究科
大会議室にて撮影



Linley教授による
G30プログラム説明